

## 第757回栃木県選挙管理委員会会議録

1 日 時 令和6年2月22日（木） 午後1時00分から午後3時10分まで

2 場 所 選挙管理委員会室

3 出席者 委員長 金田 尊 男  
委員 青田 賢 之  
委員 松永 安優美  
委員 杉田 明 子  
書記長 菅 俣 宗 良  
書記長代理 朝 倉 雄 一  
選挙係長 大根田 起 司  
主 査 松 本 祥 太 郎  
主 任 百 瀬 英 真  
書 記 店 網 有 哉

### 4 付議事件

#### (1) 協議事項

- ア 令和6(2024)年度栃木県明るい選挙推進運動要領・重点取組事業について
- イ 会議録の公表等について

#### (2) 報告事項

- ア 令和5年4月23日執行小山市議会議員選挙に係る第1回口頭弁論の結果について
- イ 令和5年度都道府県選挙管理委員会連合会関東甲信越静支会第2回総会及び委員研修会の結果について
- ウ 令和5年度芳賀地区選挙をきれいにする運動推進大会の結果について
- エ 令和5年度市町選挙管理委員会・明るい選挙推進協議会合同会議の結果について
- オ 委員会のオンライン開催について
- カ その他

### 5 会議内容

委員長は、開会を宣し、直ちに会議に入る旨述べた。

#### 協議事項

ア「令和6(2024)年度栃木県明るい選挙推進運動要領・重点取組事業について」

書記長は、本件は、令和6年度に実施する栃木県明るい選挙推進運動において常時啓発活動を展開するための目標等を定めるものであり、3月11日の「栃木県明るい選挙推進協議会」での協議を踏まえ、次回の委員会において議案として諮りたい旨述べ、詳細については選挙係長から説明する旨述べた。

選挙係長は、資料に基づき詳細に説明した。

杉田委員は、出前講座について学校から自発的に申し込みがあるのか、また1クラスごとに授業を行うのか事務局に問うた。

選挙係長は、各高校には年度当初に案内を送付しており、学校側から応募がある旨述べた。また、授業は学年全体で行っている旨述べた。

杉田委員は、学年全体で行う場合は多くの生徒に聞いてもらえるというメリットがあり、クラスごとに行う場合はコミュニケーションを図ることができるというメリットがある旨述べた。

青田委員は、啓発資材の作成についてどのくらいの予算があるのか事務局に問うた。

選挙係長は、約220万円である旨述べた。

青田委員は、出前講座を全校集会やオンライン形式で実施できるのか事務局に問うた。

選挙係長は、学校側の設備状況等によっては可能であると考えられる旨述べた。

委員長は、出前講座の実施数を増やすのであれば県と市町で連携して、県は高校、市町は小・中学校へのチャンネルを活用して働きかけを強める必要がある旨述べた。また、全校集会で行うやり方だけではなく、授業の1コマの中で選挙について話をすることや租税教室と一緒に政治や選挙について説明するというような複数のパターンをつくり提案していくことが考えられる旨述べた。

杉田委員は、eラーニング教材について、法令遵守の内容も含まれていることを強調すると企業にも見てもらいやすくなると考える旨述べた。

選挙係長は、事業を検討する中で会社経営者から寄附禁止の観点も企業にとっては重要であるという意見があり、政治意識の向上と法令遵守という内容で作成する予定である旨述べた。

委員長は、ただ今の意見を踏まえ修正すべき点は修正した上で明るい選挙推進協議会に提出し、協議会での意見も踏まえ次回の委員会で決定したい旨述べた。

#### イ「会議録の公表等について」

書記長は、本件は会議録の公表等について説明するものであり、詳細については選挙係長から説明する旨述べた。

選挙係長は、資料に基づき詳細に説明した。

委員長は、会議録の案は電子メールで送付し、その中で非公開部分分かるように示すということでよいか事務局に問うた。

選挙係長は、そのようなやり方で考えている旨述べた。

委員長は、委員会の傍聴について、すべて議会と同じやり方でよいのか、また他の行政委員会の状況はどうか事務局に問うた。

選挙係長は、確認したい旨述べた。

委員長は、本件について各委員に諮ったところ異議がないので、原案のとおり承認する旨述べた。

#### 報告事項

ア「令和5年4月23日執行小山市議会議員選挙に係る第1回口頭弁論の結果について」  
(非公開)

イ「令和5年度都道府県選挙管理委員会連合会関東甲信越静支会第2回総会及び委員研修会の結果について」

ウ「令和5年度芳賀地区選挙をきれいにする運動推進大会の結果について」

エ「令和5年度市町選挙管理委員会・明るい選挙推進協議会合同会議の結果について」

書記長は、報告事項イから報告事項エは各種会議についてであり、詳細については選挙係長から説明する旨述べた。

選挙係長は、資料に基づき詳細に説明した。

委員長は、どの会議も話題は投票率の低下についてであった旨述べた。また、出前講座の件数は県の実績だけではなく、県と市町の合計の実績を記載した上でその内訳を県、市町別で記載してほしい旨述べた。

#### オ「委員会のオンライン開催について」

書記長は、委員会のオンライン開催について、現時点での検討状況を報告するものであり、詳細については選挙係長から説明する旨述べた。

選挙係長は、資料に基づき詳細に説明した。

杉田委員は、労働委員会はコロナ禍にオンラインで実施したが、スムーズに実施できていた旨述べた。

委員長は、基本的には対面開催が望ましいが、新型コロナウイルスなどの感染症流行時や

災害時にオンラインという手段もあった方がよいという考えであり、総務省の見解を聞き次回の委員会で決めたい旨述べた。また規程を定める際は、緊急かつやむを得ないという状況であり、通常の会議への出席と同等のオンライン環境を整えるという条件等をつける必要がある旨述べた。

カ「その他」

書記長は、次回委員会の日程について、3月委員会は令和6年3月19日（火）の午後2時から、4月委員会は令和6年4月24日（水）午後2時からとしたい旨述べ、了承された。

委員長は、本日の委員会の議事は全て終了したことを述べ、会議の閉会を宣した。